

「運動に関する調査票」 調査結果概要

(一財)東京大学運動会

平成 27 年 3 月 30 日及び 4 月 1 日の諸手続きにて回収された「運動に関する調査票」(以下「調査票」)について、報告いたします。実際の質問票については末尾の「附.『運動に関する調査票』」をご覧ください。

平成 27 年度の入学者 3,144 名(内 580 名女子、東京大学公式発表より)に対し、「調査票」の回収数は 3,075、更に回収された「調査票」のうち、「性別」「文理」に対して回答の無い 17 件を除くと、有意な回答は 3,058 件となり、回収率は約 97%となりました(Fig.1)。

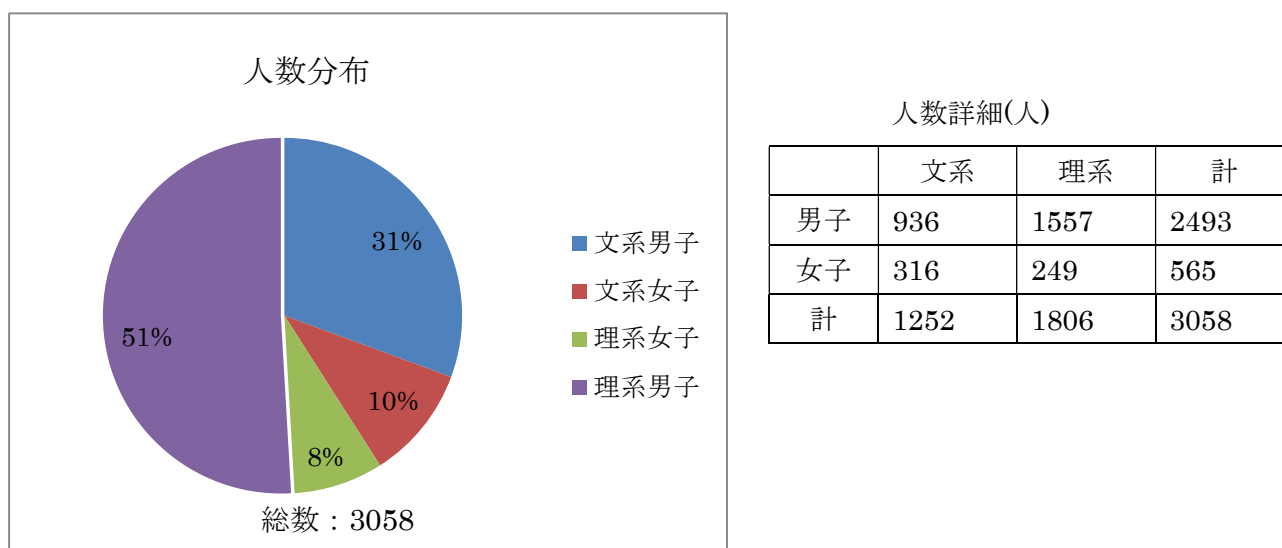
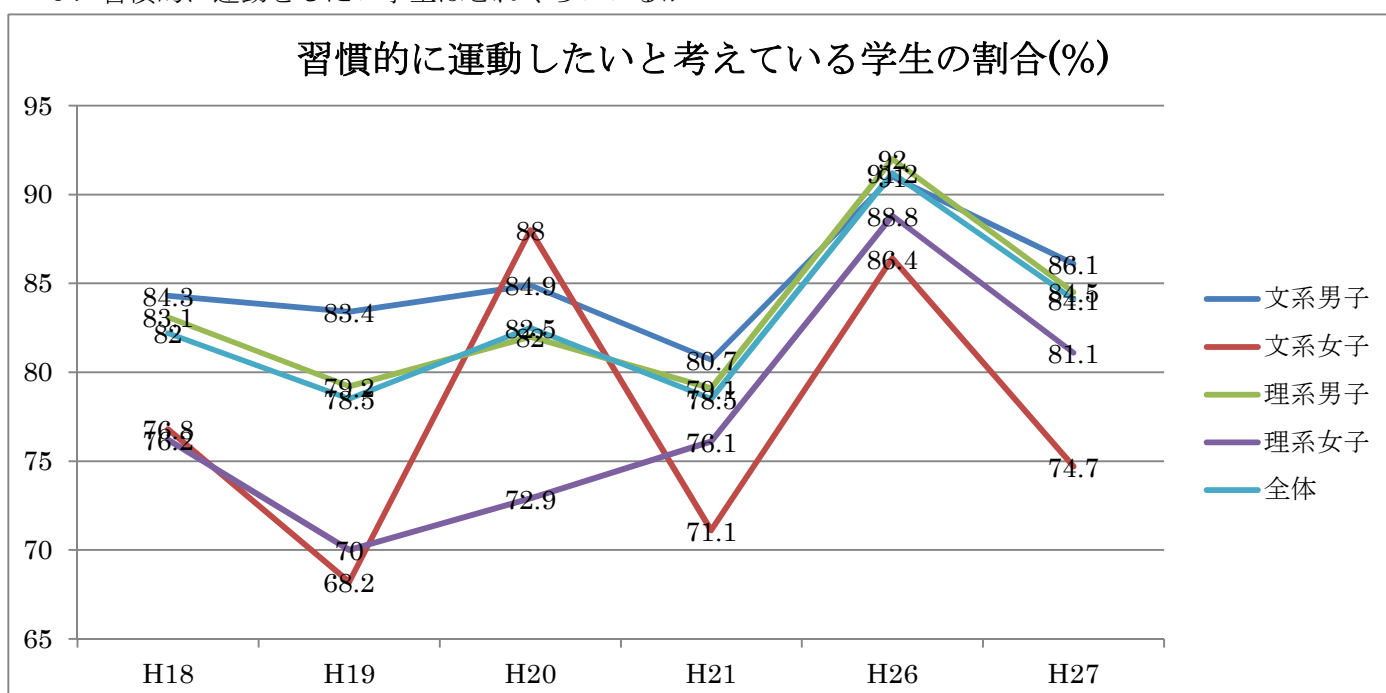


Fig.1 「調査票」回答者の分布

0. 習慣的に運動をしたい学生はどれくらいいるか



1. 運動部に入部する層について

<概要>

- ・運動部入部を考えている男子は 608 名(文系 234 名、理系 374 名)で、文系理系問わず、約 1/4 の数が運動部への入部を考えています。
- ・運動部入部を考えている女子は 108 名(文系 45 名、理系 63 名)で理系女子の 1/4 程度が入部を考えているのに対し、文系女子で入部を考えているのは約 14%となっています。

1-1 「大学で習慣的に運動したい」 新入生の割合について

質問 2「大学では、習慣的に運動をしたいと思っていますか」の回答は「はい」が 2572 件、「いいえ」が 473 件であり、新入生の約 82%が「習慣的に運動をしたい」と思っていることが分かりました。各質問の回答の内訳は Fig.2 の通りです。

「はい」と回答した者の割合は、男子は約 85.1%、女子は 77.5%であり、男女間で習慣的に運動をすることに対して若干の意識の差が見られます。女子では更に理系女子の 81.1%が「はい」と回答しているのに対し、文系女子で「はい」と回答しているのは 74.7%に止まっています。

過年度の数値を見ても、文系女子の「習慣的に運動をしたい」と考えている者の割合は他の層と比較して低いことが多く、近年は男女間での意識の差が狭まってきているとはいえ、何らかの対策を講じる必要があるように思われます。

対策としては、約 1/4 もの文系女子の新入生が「習慣的に運動することを考えていない」ことをふまえると、大学で運動部に入る・サークルに入る等の取り組みをする以前の問題として、運動に親しみやすい環境の整備などが必要であると考えられます。

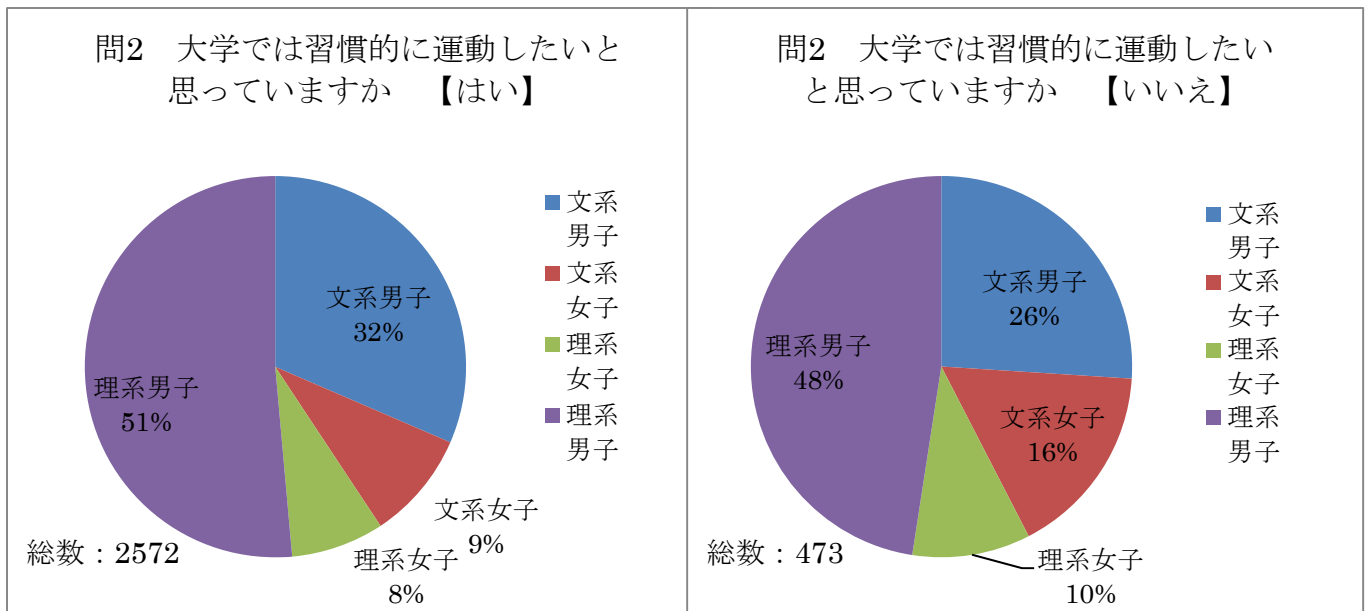


Fig.2-1

大学では習慣的に運動したいと思っていますか 【はい】

	文系	理系	計
男子	806/936 (86.1%)	1316/1557 (84.5%)	2122/2493 (85.1%)
女子	236/316 (74.7%)	202/249 (81.1%)	438/565 (77.5%)
計	1042/1252 (83.2%)	1518/1806 (84.1%)	2562/3058 (83.8%)

大学では習慣的に運動したいと思っていますか【いいえ】

	文系	理系	計
男子	122/936 (13.0%)	223/1557 (14.3%)	345/2493 (85.1%)
女子	77/316 (24.4%)	47/249 (18.9%)	124/565 (77.5%)
計	199/1252 (15.9%)	270/1806 (15.0%)	469/3058 (84.1%)

※グラフ中の%は、例えば左の文系男子の 32%は「大学で習慣的に運動しようと思っている」人数における文系男子の割合が 32%であることを表しています。

※表中の%は、例えば【はい】の文系男子の 86.1%は文系男子の総数 936 人に対して「大学で習慣的に運動したいと思っている」文系男子の割合が 86.1%であることを表しています。

Fig.2-2

1-2 「大学で習慣的に運動したい」新入生のうち、「運動部に所属しようと考えている」新入生の割合について

質問 3 「あなたはいま、大学の運動部に所属しようと考えていますか。」の回答結果は Fig.3 の通りです(%は「調査票」集計時のデータに於ける、各項全体数に対する割合です)。

	文系	理系	計
男子	234/936 (25.0%)	374/1557 (24.0%)	608/2493 (24.4%)
女子	45/316 (14.2%)	63/249 (25.3%)	108/565 (19.1%)
計	280/1252 (22.4%)	437/1806 (24.2%)	717/3058 (23.4%)

Fig.3

男子の運動部入部希望者の割合が文理で大きく変わらない事に対し、女子は文理で大きな差が生じています。

しかし、これは前述の通り文系女子のうち、「大学で習慣的に運動しようと思っている」人数自体が少ないことが理由であると考えられます。

ほか、文系男子・理系男子・理系女子についてはおよそ 24.0~25.0%が運動部への所属を考えており、この三つの層に関しては大きな差は見受けられません。

しかし、男子の場合、文理で割合には大きな差はありませんが、文系男子の人数 936 名に対し、理系男子は 1557 名ですので、運動部に入部しようと考えていない人数で見れば大きな差が生じています(文系男子の約 700 人に対し、理系男子は約 1200 人)。

1-3 新入生はなぜ「大学で習慣的に運動しようと思っている」が「運動部に所属しようと考え」ないのか

質問 4 の回答に基づき、「なぜ運動部に入らないのか」の理由について、人数分布は以下の通りです (Fig.4)。

「サークルに入るから」と「拘束時間が長そう」という理由が 1000 件ほど(それぞれ 1103 件、998 件)回答されており、運動部に入らない大きな理由になっていると考えられます。

特に「サークルに入る」と回答している割合は男子で大きく、文系男子が 346 件(37.0%)、理系男子で 584 件(37.5%)であり、運動はしたいものの、4 割近くの男子がサークルを希望している状態です。

	多 ← 人数 → 少				
文系女子	サークルに入るから	拘束時間が長そう	学業との両立が不安	練習がきつそう	先輩が厳しそう／経済的に余裕が無い
理系男子					
文系男子					
理系女子	拘束時間が長そう	サークルに入るから			

Fig.4

また、「サークルに入る」という回答をしている男子の新入生に絞って見たとき、それ以外の理由を同時に解答しているものを見てみると、Fig.5 のようになっています。

	学業との両立が不安	拘束時間が長い	練習がきつそう	先輩が厳しそう	経済的に余裕が無い
理系男子	224/38.4%	291/49.8%	221/37.8%	43/7.4%	21/3.6%
文系男子	119/34.4%	176/51.0%	119/34.4%	24/7.0%	12/3.5%

Fig.5(%は「サークルに入るから」と回答した人数に対する割合、複数回答可)

この結果から、運動をする場として、サークルを選び、運動部を避けている男子は運動部に「拘束時間が長そう」「練習がきつそう」というイメージを持っているからであると予測ができます。

また、「サークルに入るから」運動部に入らないとしている者のうち、大学でやりたいスポーツで票を集めているのは硬式テニス(290 件)、バドミントン(194 件)、サッカー(181 件)、バスケットボール(119 件)など(100 件以上のもののみ)でした。これらの競技には大きなサークル又は複数のサークルが存在しており、希望者がそちらに流れて行ってしまうことが推測されます。一方で馬術(27 件)やラクロス(45 件)など、サークルが存在していない競技でも一定の表を集めている競技も存在しており、その層に対して如何にアプローチできるかが更なる運動部員獲得の手立てになり得ると考えられます。

2. 補足：各種学内施設の利用について

<概要>

- ・新入生の多く(約 1/3)が「スポーティアを利用してみたい」「検見川を利用してみたい」という希望を持っている。

質問 3 で「運動部に所属しようと考えていない」と回答した者に限定して大学でやってみたいスポーツ及び各種講習会等の希望を集計したところ、Fig.6 のような結果となりました(100 件以上のもののみ)。

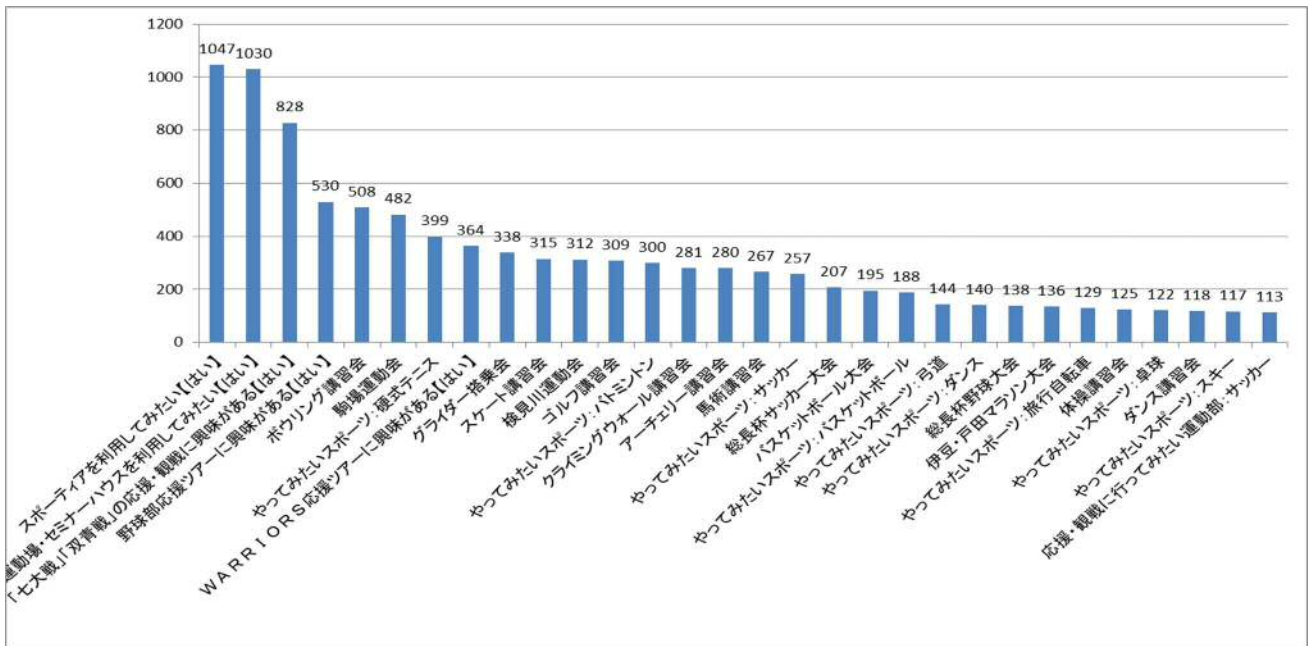


Fig.6

本件調査では、「スポーティアを利用してみたい」「検見川総合運動場・セミナーハウスを利用してみたい」という回答が多く(1000 件以上)見受けられました。

東京大学では、主として学内構成員向けの施設として、保健体育寮(スポーティア)ならびに「検見川総合運動場・セミナーハウス」を保有しています。

保健体育寮(スポーティア)とは、東京大学が所有する「海の家」「山の家」です。戸田(西伊豆)、下賀茂(南伊豆)、山中(山中湖)、乗鞍(乗鞍岳)の4カ所があり、本学の学生・教職員・卒業生とその同伴者が低廉な費用で利用できます。また、いずれも豊富な自然に囲まれた絶好の場所に立地しています。

また「検見川総合運動場・セミナーハウス」は千葉県千葉市にある、約26万平方メートルという広大な敷地を有する施設です。様々なスポーツが行えるよう整備されており、セミナーハウスを併設しているため、サークルやゼミ・研究室の合宿や研修のための施設としても十分な機能をもっています。

これらの施設は、課外活動をより有意義なものにするためにも活用できるものです。新入生の皆さんにはこれら施設も積極的に活用し、よりよい大学生活を送ってもらえればと思っています。

附. 「運動に関する調査票」

運動に関する調査票

ご入学おめでとうございます。東京大学・東京大学運動会（他大学における体育会に相当する組織）では、例年、新入生を対象に「運動に関する調査」を実施しています。これは、新入生の運動に対する意識を調査し、スポーツに関する学生サポート、各種スポーツ大会や講習会を実施する際の参考資料とするものです。趣旨をご理解の上、ご協力の程よろしくお願いたします。

なお、回答は別紙回答用紙にご記入ください。

1. まずはじめに、あなたのことについてお聞きします。

- 1-1. 科類をお答えください。
- 1-2. 性別をお答えください。

○次にあなたがこれからの大学生活で、スポーツとどのように関わりたいかお聞きします。

2. 大学では、習慣的に運動したいと思っていますか。

1. はい →質問 3 へ進んでください。
2. いいえ →質問 5 へ進んでください。

3. 質問 2 で「はい」と答えた人に質問します。

東京大学には、東京大学運動会に所属し、大学の代表として対校戦に参加している運動部があります。

あなたはいま、大学の運動部に所属しようと考えていますか。

1. はい
2. いいえ

4. 質問 3 で「いいえ」と答えた人に質問します。その理由はなんですか。（複数回答可）

1. サークルに入るから
2. 学業との両立が不安だから
3. 練習がきつそうだから
4. 先輩が厳しそうだから
5. 経済的に余裕がないから
6. 拘束時間が長そうだから
7. その他（ ）

5. 質問 2 で「いいえ」と答えた人に質問します。その理由は何ですか。（複数回答可）

1. 学業などに時間を使いたいから
2. 運動が嫌いだから
3. 面倒だから
4. その他（ ）

6. 東京大学運動会には下表の運動部が所属しています。

6-1. あなたが、中学・高校でやっていたスポーツ（部活・クラブチーム etc.）があれば、表の中から選んで、番号で教えてください。（複数回答可）

6-2. あなたが、大学の部活やサークルでやってみたいスポーツを表の中から選んで、番号で教えてください。（複数回答可）

〈運動部一覧〉

◇屋外競技◇

- | | | | | |
|----------|----------|----------|--------|----------|
| 1. グライダー | 2. 競技自転車 | 3. 旅行自転車 | 4. 自動車 | 5. スキー |
| 6. ボート | 7. 馬術 | 8. 洋弓 | 9. ヨット | 10. 陸上競技 |
| 11. 登山 | | | | |

◇屋内競技◇

- | | | | | |
|---------|-----------|----------------------|-------------|---------------|
| 12. ダンス | 13. 競泳 | 14. 水球 | 15. アイスホッケー | 16. フィギュアスケート |
| 17. 体操 | 18. ボウリング | 19. ボディビル&ウェイトリフティング | | |

◇球技◇

- | | | | | |
|------------|------------|------------|---------------|--------------|
| 20. サッカー | 21. アメフト | 22. 硬式野球 | 23. 準硬式野球 | 24. 軟式野球 |
| 25. ゴルフ | 26. 卓球 | 27. 硬式テニス | 28. 軟式テニス | 29. バスケットボール |
| 30. バドミントン | 31. バレーボール | 32. ハンドボール | 33. フィールドホッケー | 34. ラグビー |
| 35. ラクロス | 36. ソフトボール | | | |

◇武道・格闘技◇

- | | | | | |
|---------|--------|------------|-----------|-----------|
| 37. 合気道 | 38. 空手 | 39. 剣道 | 40. 少林寺拳法 | 41. 柔道 |
| 42. 弓道 | 43. 相撲 | 44. フェンシング | 45. ボクシング | 46. レスリング |
| 47. 躰道 | | | | |

◇応援◇

- | | | |
|------------|------------|-----------|
| 48. 応援リーダー | 49. チアリーダー | 50. 応援吹奏楽 |
|------------|------------|-----------|

○次に東京大学運動会による各種企画について、あなたがどう関わりたいかお聞きします。

7. 東京大学運動会では、運動部に所属していない学生のみなさんを対象として、運動部の試合観戦ツアーを実施しています。

◆野球部応援ツアー：東京六大学野球連盟に加盟する硬式野球部のリーグ戦の応援ツアーです。
◆アメリカンフットボール部（WARRIORS）応援ツアー：関東でも上位に入る実力の WARRIORS のリーグ戦の応援ツアーです。

7-1. あなたは、「野球部応援ツアー」に興味がありますか。

1. 興味がある 2. 興味がない

7-2. あなたは、「アメリカンフットボール部応援ツアー」に興味がありますか。

1. 興味がある 2. 興味がない

7-3. あなたは、硬式野球部・アメリカンフットボール部以外に、応援・観戦に行ってみたい運動部はありますか。もしあれば、6の〈運動部一覧〉から数字を選んで、回答欄に記入してください。（複数回答可）

8. 東京大学運動会が参加している大会には、大きなものとして以下の2つがあります。

◆ 全国七大学総合体育大会（通称「七大戦」）

旧帝国大学（北海道大学・東北大学・東京大学・名古屋大学・京都大学・大阪大学・九州大学）のスポーツ競技を通じた交流促進を目的とした、大学アマチュアスポーツの祭典です。

◆ 東京大学京都大学総合対校戦（通称「双青戦」）

東西の雄たる東京大学と京都大学の運動部による対校戦です。

あなたは、「七大戦」「双青戦」の応援・観戦に興味がありますか。

1. 興味がある 2. 興味がない

9. 東京大学運動会では、学生のみなさんがさまざまなスポーツに挑戦できるよう、様々なイベントを企画しています。興味があるイベント、参加してみたいイベントを次ページの表の中から選び、行事名の番号でお答えください。（複数回答可）

10. 表中のイベント以外で、体験してみたいスポーツや講習会の開催を希望するスポーツ、実施を希望するイベントがあれば自由にお答えください。

行事名	開催時期	内容
1、ゴルフ講習会	2月	二日間の指導で、初心者でもゴルフが楽しめるようになります。
2、駒場運動会	4月	主に新入生対象の大会で、クラス対抗リレーなどを行います。
3、アーチェリー講習会	6月	一から丁寧に教えます。弓の世界を体感してみましょう。
4、ボウリング講習会	6月、1月	レーンを借りきって投げ放題。必ずスコアアップできます。
5、馬術講習会	7月、11月	東京に居ながらにして乗馬体験ができます。
6、体操講習会	11月	体操部員の指導の下、安全にバク転に挑戦・体験できます。
7、ダンス講習会	11月	二時間の講習でワルツやルンバが踊れるようになります。
8、グライダー搭乗会	11月	青空を小型飛行機に乗って気持ちよく飛ぶことができます。
9、スケート講習会	11月	スケートリンクを借りきって指導します。
10、伊豆・戸田 ^{へだ} マラソン大会	11月	西伊豆の美しい眺望の中を走るフルマラソン大会です。
11、検見川運動会	11月	広大な運動場でフットサルやテニスなどを楽しむことができます。
12、総長杯レガッタ	12月	埼玉県戸田 ^{とだ} で行われる伝統のレガッタレースです。
13、バスケットボール大会	12月	各種競技の大会です。
14、総長杯サッカー大会	9月～2月	
15、総長杯野球大会	9月～10月	
16、クライミングウォール講習会	通年	本郷キャンパス内のクライミング施設が使えるようになります。

※詳しい講習会の情報は運動会総務部 HP(<http://www.undou-kai.com/somu/page/event.html>)をご覧ください。

○次に、東京大学運動会がもつ各種施設について、あなたの考えをお聞きます。

11. 東京大学運動会には、実際に運動を行う場として複数の施設があります。

◆保健体育寮（スポーティア）

いわゆる「海の家」「山の家」。東京大学運動会が運営し、各種活動(スポーツの合宿のほか、ゼミ合宿等)の拠点として安価で利用することができます。

山中寮内藤セミナーハウス（山梨県山中湖村）／戸田寮（静岡県沼津市）

下賀茂寮（静岡県南伊豆町）／乗鞍寮（長野県松本市）

◆検見川総合運動場・セミナーハウス

千葉県千葉市にあります。サッカー場やテニスコート、ラグビー場、体育館などのスポーツ施設や、大人数でのミーティングが可能なセミナールームを安価で利用することができます。

11-1. あなたは、保健体育寮（スポーティア）を利用してみたいですか。

1. はい 2. いいえ

11-2. あなたは、検見川総合運動場・セミナーハウスを利用してみたいですか。

1. はい 2. いいえ

質問は以上です。回答は別紙回答用紙にご記入ください。